

平成29年度第1回米子市学校給食運営委員会議事録概要

- 1 開催日時 平成29年4月25日(火) 15:00～16:10
- 2 開催場所 米子市立学校給食センター 2階 会議室
- 3 出席者
＜米子市学校給食運営委員会委員＞
川上委員(会長)、佐伯委員(副会長)、原委員、門脇委員、神坂委員、黒安委員、
住田委員、山根委員、中山委員、増田委員
＜事務局＞
学校給食課 山中課長、野口係長、堀部主幹、島根栄養教諭、星野学校栄養職員
- 4 会議次第
 - (1) 開会
 - (2) 委員自己紹介
 - (3) 会長互選
 - (4) 会長あいさつ
 - (5) 議事
 - ア 平成28年度事業報告について
 - イ 平成29年度学校給食費について
 - ウ その他
 - (6) その他
 - (7) 閉会
- 5 議事の概要
(注：委員自己紹介、会長あいさつ及び事務局の議案説明は省略しています。また、発言は要約しています。)

議長(川上会長)

日程に従いまして、議案第1号 平成28年度事業報告について、事務局からの説明をお願いいたします。

事務局(野口係長)

[議案第1号 平成28年度事業報告について説明を行う]

議長(川上会長)

ただ今、議案第1号につきまして事務局から説明していただきましたけれども、何かご質問等ございましたらお願いいたします。

住田委員

昨年、米子市の学校給食の方が、HACCPという鳥取県の認定制度を取得されました。第二学校給食センターで、委託業者は東洋食品さんです。小、中学校の学校給食では、県内で初の認定施設です。大変素晴らしいことだと思います。

全県で初めて取得をされましたので、事業報告のどこか記載されているかなと思いましたがなかったのが、ちょっと残念でした。

是非こちらの学校給食センターでもHACCPの認定制度を取っていただきまして、より良い安全、安心な施設の方をお願いしたいと思います。

議長（川上会長）

栄えあるHACCPですので、またどこかでPRに使っていただけたらいいなと思います。その他、ご質問はございませんでしょうか。

佐伯委員

地産地消については毎年気になっていまして、今回は大雪のこともあって残念だったと思います。米子市は非常にたくさんの子どものために供給しているので難しいところもあると思うのですが、鳥取市も大きいですし、民間委託にしておられるのも知っているのですが、地産地消率は米子市よりは高かったなと思っています。鳥取市と何か違うところがあるのですか。

事務局（島根栄養教諭）

東部の方は、学校給食のために生産されている野菜がありますし、地産地消の推進会議にも出たことがあるのですが、そういった場でも、JAさんの方が、東部はわったいなさんがあると思うのですが、そこが学校給食に使う食材をなるべく地産地消で賄うという方針でおられまして、東部のものだけではなく、西部の方にも手を伸ばされて、それをなるべく東部の方に持っていくとか、結構、全体で力を入れておられます。

西部もJAさんとそういったところで協力をして、なるべく学校給食の方でも地元の野菜を使えるように協力をしていただこうと、お話は何度かさせていただいてはいます。市場さんと話をするにしても、JAさんとの結び付きがないと、なかなか話も進みませんし、学校給食のための新しい何か道がないかなと、毎月このぐらゐの時期にこういう野菜がほしいですとか、そういうデータをこちらからJAさんの方に持って行かせていただいている、必要数量に関してはJAさんの方も把握してくださってはいるのですが、その数量とできる量、あと価格の面で、折り合いがなかなか付かなくて、県産が入らず国産になって給食の方に入ってくるということがあります。

JAさんともそうなのですが、こちらの入札のシステムとか、いろんところで見直しをしないといけない時期には来ているのかなと思っています。

佐伯委員

入札関係になってくると、学校給食会との問題となるのですか。

事務局（島根栄養教諭）

入札関係になってくると、学校給食会さんとも話をさせていただかないといけなくなると思います。今、JAさんと話をさせていただいているのが、学校給食課とJAとなっていますので、そこに是非、学校給食会さんにも加わっていただかないと、なかなか話が出来ないのでかなとは思っています。

佐伯委員

分かりました。児童生徒数から言ったら、鳥取市の方が多いと思いますが、米子も結構大きいので、難しさはあるとは思いますが、地産地消率は西部の方が低いはずなので、その辺はもうちょっと努力してもいいのかなとは以前から感じています。

事務局（島根栄養教諭）

おそらく東部の方は、合併はしましたが、新たに鳥取市となったところは、以前と変わらずそれぞれ地元の野菜を入れることができていますので、旧鳥取市より率は高いと思います。

佐伯委員

でも、旧鳥取市は、米子とそんなに規模が変わらないと思うのですが、旧鳥取市と比べても、やっぱり向こうの方が地産地消率はいいですよ。

事務局（島根栄養教諭）

そうですね。いろんなところで、結構、積極的に動いておられます。そういうところも西部にあればいいのですが、それこそ、地産地消でもうちょっと地元のものを入れてほしいなあと思うような食材がなかなか入らなかったりするのですが、東部では入ったりすることがあります。たまねぎであったり、じゃがいもであったり、そういうものが東部さんは入ることがあるのですが、西部、米子市はなかなか、それが入らなかったりします。

佐伯委員

少しでも努力していただけたら、うれしいなと思っています。

あと、アレルギーがすごく増えてきているだろうなと思っていましたが、先程お聞きしたら、やっぱり人数が増えてきていました。人数的にはどれぐらいまでだったら対応ができるのですか。ノウハウができたら、人数が増えてきても大丈夫なのですか。

事務局（島根栄養教諭）

第二センターは、アレルギー対応の専用調理室があります。対応人数は、確か100人ぐらいだったかと思います。他の共同調理場に関しては、本当に狭いスペースの中でやっており、今、鶏卵と乳だけでも結構な人数ですので、食材が増える、アレルギーの数を増やして対応するというになると、ちょっと難しいのかなと思います。

佐伯委員

でも、今、種類は、増やそうとはしていないのですよね。

事務局（島根栄養教諭）

現在のところでは、難しいですね。毎年、毎年これだけ人数が増えているので、これ以上、何か種類を増やすと、それだけでも全体で結構な数になりますので、今のところは鶏卵と乳だけの対応を考えています。

佐伯委員

私は、種類はこれだけでいいから、きっちり対応できるようにするというのと、人数が増えてきても対応ができるようにはしておかないといけないと思っています。

事務局（島根栄養教諭）

各施設で対応できるおおよその人数というのは、決まってくると思いますので、施設の対応食の調理スペース等状況を見て考えていかなければならないかと思います。

佐伯委員

乳とか、鶏卵の部分で、お断りしないといけないような状況にならないようには、努力はしていかないといけないと思っています。

事務局（島根栄養教諭）

対応食を作っている場所の見直し、献立の見直しなどいろんなことで対応していかないといけないのかなとは思っています。

佐伯委員

随分、献立も工夫してもらっていたはずですし、それから、調味料なども、そういうものを含まないものを選んできたはずですよ。

事務局（島根栄養教諭）

乳、卵は、全国的にも多いですので、こちらが指定すると調味料の中からはほとんど抜いたものを業者さんの方が出してくださっているのです、大分、対応が可能にはなってきました。

でも、献立をいろいろとバラエティーに富んだものにしたいという思いもあったりすると、卵を入れた汁がしたいとか、加工品ではなくて原材料として鶏卵が使いたいとか、そういった日が月に何回か出てきてしまうと、大変になってくるかと思しますので、その辺は献立作成の時に考えていかないといけないのかなと思っはいます。

佐伯委員

あと一点、小麦のアレルギーは大変難しいのですけれども、米飯の日で食べられるのだったら、食べてもらいたいと思っはいるのですが、小麦は思わぬところでいろんなものに使われているのですよね。その辺で、例えば、パン以外の日だったら、対応できるということも考えられるのですか。

事務局（島根栄養教諭）

小麦に関しては、大分減ってはきています。献立の詳細を作る時に、調味料のしょうゆとか、味噌とかに小麦という表示をすることになります。そういったものに関しては、小麦抜きのもも出てきてはいるのですが、それを抜いたものとなると、今度は価格が上がってきてしまいます。そればかりを使ってくると影響が出てくるかもしれません。

佐伯委員

だったら、小麦はちょっと難しいですかね。

事務局（島根栄養教諭）

難しいですね。保護者の方と相談をしながら、どれぐらいの割合で入っはいるのかというような電話はいただいたりはしています。

佐伯委員

そうすると、個別の面談で少しアレルギーの程度が軽い方だったら、配合ができていますか。

事務局（島根栄養教諭）

保護者の方で医師と相談してもらい、食べられるかどうかというのは決めていただっはいるので、中には食べておられる方もあります。

大分、食べられるようになったという声も聞いたりはしています。やっぱり、体の成長に合わせて負荷、免疫療法をされていっ、負荷を与えて、食べられるようになってきていっ言っはおられます。

佐伯委員

そうすると、入学する時とかに、学校ではちょっと分からないことなどは、例えば、島根先生とかに連絡をすれば、個別でも保護者さんと話はできるのですね。

事務局（島根栄養教諭）

はい、何名かからは連絡をいただいて、それに答えさせていただいております。

佐伯委員

ありがとうございます。良く分かりました。以上です。

議長（川上会長）

ありがとうございました。その他、関連してでもいいですけども、ご意見、ご質問がございましたら、お願いします。

中山委員

今、代替食とか、アレルギーとかの話を聞いて、随分、学校も対応してくれるなど感じました。

それで、次の議題が給食費ですので、そちらの括りになるかもしれませんが、アレルギーにだんだん対応していくと、先程価格のことをおっしゃっていましたが、アレルギーの子が代替食を持ってくると、この一食当たりの給食費からも個別に食の価格が変わってくるのかということと、今度、可能でしたら、鳥取県の東部、中部、西部でどれだけ地産地消がされているのかというパーセンテージを載せていただけると、初めて見ても、鳥取市はこのぐらい、倉吉はこのぐらい、西部はこのぐらいというのが分かりやすいのかなと思います。

あと、それについて一食当たりどのぐらい、みんな同じぐらいだと思うのですが、そういうことも載せていただくと比べやすいと思います。自分たちがそんなに特別なことではないにしても、見ても参考になるのではないかと思います。

議長（川上会長）

はい、ありがとうございます。

この二点につきまして、よろしいでしょうか。

事務局（島根栄養教諭）

まず、アレルギーに関してですが、給食費については、基本、同じ金額にさせていただいています。

ただし、牛乳がアレルギーで飲めない場合と、パンに乳が入っていたり、小麦アレルギーで止めておられるお家もありますので、パンと牛乳に関しては、停止をされているお家には年度末に返金があります。

そこだけは、価格の方が変わってきますが、代替食で鶏卵の代わりに何かを提供させていただいたりしている場合にも、基本、平成28年度は小学校272円、中学校320円でお支払いいただいているということです。

中山委員

それにしても、アレルギー対応が給食センターの規模もありますけども、人員といいですか、いろいろとかかってくるのだなと思いました。

事務局（野口係長）

あと、地産地消に関しては、各市町村が県の指定した44品目の使用率を県に報告することになっています。平成28年度分の各市町村の率については、5月17日頃に県から公表されることになっています。

今の段階でも個別に問い合わせをすれば、各市町村の率は分かったかもしれませんが、そこまではしておりません。次回の報告書には、検討していきたいと思います。

議長（川上会長）

ありがとうございました。その他、ご質問がございましたらお願いいたします。

黒安委員

実施回数のところ、198回という回数をこなしていただいたのですが、昨年度は大雪の関係で配送が遅れるということがありました。

ご飯、パンとかの主食とおかずが、時間がずれてしまって、主食だけが間に合っているけども、おかずが来ないというようなケースはあったのですか。

中山委員

ありました。義方では。

黒安委員

その時は、どんな対応をされたのでしょうか。

中山委員

大雪で運ばれなかったということもあったような気がするのですが。

事務局（野口係長）

一時間以上も遅れ、通常の給食時には間に合わなかった学校もありましたが、全部の学校に運べております。

黒安委員

といいますのは、昨年はすごい雪の中、いろんな苦勞をして届けていただいて、本当に感謝しているのですが、実際どんなことが起こるか分からなくて、たとえばパンとか、ご飯だけでも着いたら、何とかそれだけでも食べさせてあげたいという気持ちはあります。もしくは全く着かなかった時の代替の非常食を学校で保存するというのは、認められないものなのかということが一点、そういったご飯とかパンだけが仮に着いた時に、ふりかけとか、ジャムとか、マーガリンとか、何か付ける物さえあればそれだけでも食べられると思います。非常時ですから全く食を抜きにして学校を成立させるということは出来ないもので、そういうことも代替案としては、十分ありかなと思います。

いろんな非常災害等も起こる可能性もありますので、まとめて言うと、非常時のため用意してある救給カレーというのは、学校で保存ができるのか、できないのか。それから、ご飯とかパンに付けるふりかけ類、ジャム、そういったものが学校に完備してあれば、仮にパンとかご飯だけであっても何らかの対応ができるのではないかと思いますけど、そういったことは難しいのでしょうか。

事務局（野口係長）

まず、救給カレーについてですが、現在、ここの学校給食センターと第二学校給食センターに保管しております。

今言われたように学校に食数分を置いておけば、いざという時の対応は早いとは思いますが、スペース的なこともあって、なかなかすべての学校には難しいということ、あとは管理の問題で、食材ということになりますので、きちんと鍵がかかるようなところに保管しておかないといけないということもありますので、今のところ、学校での保管というのは難しいかなあと考えております。

事務局（島根栄養教諭）

ふりかけも同じことになるのではないかなと思います。緊急時対応で学校に置いておけたらいいのですが、食材の管理の面で鍵をかけていただき、いつ食べるかも分からない状態に

なってしまいますので、それをどこで管理していただけるのか、そこが安全な場所なのか、そういったことをこちらで管理がしきれなくなってしまいますので、ちょっと難しいかなと思います。

何年か前にも、そういったお声をいただきまして、難しいのではないかなというお返事をさせていただいたことがありました。アレルギーのことも考えて、みんなで食べられるふりかけであることと、管理ができる場所が学校にあるのかどうかということで、話になったような覚えがあります。

中学校になるとご飯の量がすごく多くなり、何かがないと食べられないというのは、分かっていますので、また、そこは課題なのかなと思っているところです。

黒安委員

よろしくお願ひします。米子市は、そういうお考えで、そういった実施をされているということは分かったのですが、全国どこでも同じことが起きていると思いますので、他府県なり、他市町村の実施をまたちょっと検討していただいて、少しでも実現できれば有難く思います。

佐伯委員

県が新しく防災マニュアルの基を作って、今度、それを参考にして市町村の方も具体的に考えていこうということで、すごく詳しいものが作られています。それを見ると、本当に何が起こるか分からないので、確か、昔はごましおか何かを学校が持っていて、いつでも使ってもいい、いつ出すかは配膳員の方の裁量で、今日出てきたわということがありました。例えば、ジャムでも、ふりかけでもストックしておく、賞味期限が切れたら困るから、いつまでには使ってくださいとしておかなければならないとは思いますが。それと鍵云々は、そんなに難しいことではないと思います。

ずっと、難しい、難しいと言って避けていたら、全然進みません。今回、中部で大きな地震もあったことだし、いつかは考えていかなければいけないことなので、この機に教育委員会として動いてもいいのかなとは、個人的には思います。

そのためには、手のひらにラップを広げて、ご飯をのせて、自分の分のおにぎりにしていかないといけませんから、そういうデモンストレーションでもないですが、練習をしてみないといけません。確か、東山中が、地域の方に配膳をやっていましたよね。ああいう防災訓練でもないけど、それを兼ねたようなことを、どこかいくつかの学校がやってみて、これならできるというノウハウをみんなに広げていくようなこともあっていいかなと思いました。

議長（川上会長）

ありがとうございます。

昨年、やはり中部でそういうのがありましたので、自分たちの問題として考えてくださっているなと感じます。

その他、いかがでしょうか。

中山委員

私も、倉吉のことや、また副会長もおっしゃるように、以前そういう話があって、今回改めてそういうふうに思ったという意見もありましたので、せっかく、このような運営委員会があるので、具体的に防災を含めて、学校長判断であり、その地域の小学校、小学校で校区内の中学校に管理するところがあるのかとか、徒歩圏内で若しくは台車でも使ってもとか、

いろんな考えがこれだけの人数があれば出ると思います。それは、是非、進めて行ってほしいなと思います。

議長（川上会長）

ありがとうございました。

その他、ご質問はありませんでしょうか。

他になければ、議案第2号 平成29年度学校給食費について、事務局からのご説明をよろしく願いいたします。

事務局（島根栄養教諭）

〔議案第2号 平成29年度学校給食費について説明を行う〕

議長（川上会長）

はい、ありがとうございました。

ただ今、議案第2号について、事務局から説明していただきました。何かこの件につきまして、ご質問はありませんでしょうか。

よろしいでしょうか。

そうしましたら、特にご意見がなければ、平成29年度の学校給食費につきましては、小学校は272円、中学校は320円ということで、お願いすることといたします。

議長（川上会長）

次に、議事のその他について、委員さんの皆様から何かございませんでしょうか。

原委員

この間、娘の参観日と学級相談に出た時に、給食の話題になったのですが、小学校に比べて中学校は授業時間が長くなるというのもありまして、給食を食べる時間が10分とか15分しかないということで、とても食べきれなくて、残飯がすごい量になっているという話が出ていました。学校としてどうにか対応できないものかという話もしたのですが、どうも回収に来られるのが早いみたいで、その回収の周りに合わせようと思ったら、もう時間の調整が付かないと言われたのですが、回収の時間というのは、調整はできないものなのでしょうか。

事務局（堀部主幹）

今、どこの学校かを確認しましたので、実際にどのような配送時間になっているかを確認してみたいと思います。

調整の方はできますが、事前に設定している時間は、学校の方でも給食が十分食べられるような時間ということで設定しております。

原委員

いつも見ていると、小学校に配送して、そこでお昼をとられ、小学校で回収して、すぐ中学校に行かれています。給食が始まる時間も中学校の方が若干遅いというのがありますし、それで準備して食べるとなると、小学校とあまり変わらない時間に回収に来られるとなると、食べる時間がないのかなと思います。部活とかも始まって、ちゃんと食べておかないと、その辺も影響が出ていけませんので、もうちょっと食べる時間を確保できるように、回収の時間の方を調整していただけないでしょうか。あと学校の方にもちょっと協力をいただか

ないといけないとは思いますが。

事務局（堀部主幹）

確認を取ってみたいと思います。

原委員

お願いいたします。

議長（川上会長）

では、その件につきましても、調整をよろしくお願いいたします。

他の件で、皆様から何かございませんでしょうか。

では、ないようでしたら、事務局の方から何かございますか。

事務局（山中課長）

事務局からは、これ以外には用意した議事はございません。

議長（川上会長）

そういたしますと、他に議事はないようですので、その他、事務局から連絡等がありますでしょうか。

事務局（山中課長）

本日の委員会での慎重な審議また貴重なご意見ありがとうございました。

ご意見いただきました災害時の対応や地産地消、先程の回収時間につきましても、できることから検討してやってみたいと思いますので、よろしくお願いいたします。

それと、この学校給食運営委員会ですけれども、平成29年度は4回の開催を計画しております。今回が第一回ということで、次回の運営委員会ですが、夏休み前に、施設の検証を兼ねた見学と給食の試食をお願いしたいと考えております。

場所につきましては、米子市流通町にございます第二学校給食センターで行いたいと考えておりますが、皆さんいかがでしょうか。

議長（川上会長）

皆さんいかがでしょうか。今回は、7月に流通町の第二学校給食センターでの開催ということですが、よろしいでしょうか。

各委員

はい。

議長（川上会長）

では、異議がないようですので、今回は7月に、日程の方はまた調整していただきますが、第二学校給食センターでの開催といたします。

事務局（山中課長）

ありがとうございました。そういたしますと、日程が決まりましたら、すぐにご連絡をいたします。よろしくお願いいたします。

議長（川上会長）

それでは、今回は、第二学校給食センターでの開催ということですので、よろしくお願いいたします。

以上で、平成29年度第1回米子市学校給食運営委員会を終了いたします。

ご協力ありがとうございました。